

## 8-5-6 CIM技術専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

講習会：9回

#### (2) 主な内容

国土交通省が推進している CIM(Construction Information Modeling)の技術的課題を検討して、協会内で推進、普及することを目的として、①CIM推進に関わる課題の検討、②CIM講習会の開催、③関連する対外委員会への参加を行った。

##### a) CIM推進に関わる課題の検討

昨年度より、PC橋、鋼橋、河川、土量、維持管理の4つのワーキングに分けて、CIMを活用する際に施工段階への連携をとるために、設計で必要となるモデルの作成方法を検討した。PC橋WGは土木学会 ICT 施工検討小委員会 PC橋WG、土量WGは日本建設業連合会 インフラ再生委員会と合同で、鋼橋WG、河川WGは、CIM技術検討会の各WGと連携して、国土交通省「CIM導入ガイドライン(素案)」の内、以下のガイドライン素案の検討、作成に協力を行った。

- ・ 橋梁編 (鋼橋、PC橋)
- ・ トンネル編
- ・ 共通編

##### b) コンサルタントへの推進方策の検討

平成27年度に、建設コンサルタンツ協会会員に CIM 普及のため、九州支部、中部支部、東北支部と連携して3回の講習会を開催した。平成28年度は、全支部に拡大し、Autodesk 社 Civil 3D、Revit を用いた基本操作を各1日ずつ、定員20人のCIMハンズオン講習会を開催し、全体で356名の参加者となった(表-1)。参加者のアンケート結果から、こうした講習会を望む声が多く、次年度は、国土交通省「CIM導入ガイドライン」が制定されることとなっており、このガイドラインの内容に合わせた講習会を全国で開催する予定である。

##### c) 関連する対外委員会への参加

- ・ CIM導入推進委員会  
全体統括チーム 藤澤  
CIM導入ガイドライン策定WG  
河川サブWG 零石  
鋼橋サブWG、PC橋サブWG 藤澤
- ・ 社会基盤標準化委員会 特別委員会 藤澤

### 2. 次年度の活動について

本年度の活動を継続し、①CIM推進に関わる課題の検討、②CIMハンズオン講習会の開催、③関連する対外委員会への参加を行う他、④実際にCIMを建設事業の中でどのように活用可能かユースケースを取りまとめる。

(CIM技術専門委員会委員長 藤澤 泰雄)

表-1 CIMハンズオン講習会

会場		1日目 土工編	2日目 構造物編	会場		1日目 土工編	2日目 構造物編
東京	5/19, 20	20	20	広島	7/14, 15	19	13
福岡	5/26, 27	20	20	新潟	7/21, 22	23	19
名古屋	6/2, 3	20	17	高松	7/28, 29	26	22
札幌	6/23, 24	27	12	大阪	8/18, 19	20	20
仙台	6/30, 7/1	20	18	合計		195	161